

委員配付資料2

# 米軍の対中戦略と運用

U.S. Military Strategy and Operation toward China

山本章子

YAMAMOTO Akiko

# 米国の対中戦略(U.S. Military Strategy toward China)

## □オバマ政権(Obama Administration)

### ■エアシーバトル(Air Sea Battle[ASB], 2010)

: 海、空、宇宙、サイバー空間の横断的な作戦で敵の能力を攪乱・破壊

### ⇒ ■オフショア・コントロール(Offshore Control)

: 中国本土を直接攻撃せず、海上封鎖を行う

### ⇒ ■JAM-GC, 2016

: 敵の攻撃計画・意図を実行に移させないことへと目的を修正

← 中国の空・海軍の攻撃力の急激な向上

## □トランプ政権(Trump Administration)

### ■マルチ・ドメイン・バトル(Multi Domain Battle, 2017)

: 陸軍・海兵隊を含めた4軍の統合作戦 ⇔ ASBは空・海軍中心

### ⇒ ■マルチ・ドメイン・オペレーション(Multi Domain Operation[MDO], 2018)

: 「紛争(Conflict)」未満の「競争(Competition)」局面で敵を抑止して

紛争への発展(escalation)を防ぎ、仮に発展しても競争局面へと戻す

# マルチ・ドメイン・オペレーション(MDO)

## □戦力態勢(Posture)

- 前方展開部隊(Forward Deployment Forces)=在日米軍(USFJ)  
: 敵の接近を阻止できるよう即時展開(Rapid Deployment)
- 米国本土からの遠征部隊(Expeditionary Forces from U.S. Mainland)
- 同盟国の部隊(Allied Forces)=自衛隊(JSDF)  
: 偵察、非正規戦、情報戦、接近阻止・領域拒否(Patrol, Irregular Warfare, IEO, A2/AD)に貢献

## □MDOに基づく離島作戦(Operations in Remote Islands based on MDO)

- ①サイバー・宇宙戦能力を駆使して敵の指揮・統制システムを攪乱
- ②海軍の揚陸艦から目標の島に上陸した海兵隊が防御拠点を制圧し、飛行場の修理や橋頭保の構築を行う
- ③空軍の輸送機が陸軍の機動部隊を島に送り込む
- ④海兵隊部隊の一部は空軍輸送機に乗り込み、次の目標地点に向かう

# 「列島防衛」(“Archipelagic Defense” by Krepinevich)

□軍事戦略家クレピネビッチの「列島防衛」戦略(2017)

■第一列島線に沿って、日米の燃料・弾薬の備蓄体制を整備

⇒南西諸島に自衛隊の弾薬庫を整備

■米機動部隊の編成と第一・第二列島線への派遣・投入

⇒岩国・普天間飛行場(海兵隊)、佐世保基地(海軍)、嘉手納基地(空軍)

に所属する部隊の一体運用

■接近拒否・領域拒否(A2/AD)能力の重視

⇒南西諸島への自衛隊ミサイル部隊配備

■有事を想定した米軍訓練の回数を増やし、日米共同作戦を進める

⇒◆在沖米軍の訓練や、沖縄への米軍機飛来の激増

◆陸上自衛隊の「水陸機動団」創設

◆米軍と自衛隊との基地の共同使用

【参考文献】 森聡「統合作戦構想と太平洋軍」土屋大洋『アメリカ太平洋軍の研究—インド・太平洋の安全保障』千倉書房、2018年、第9章